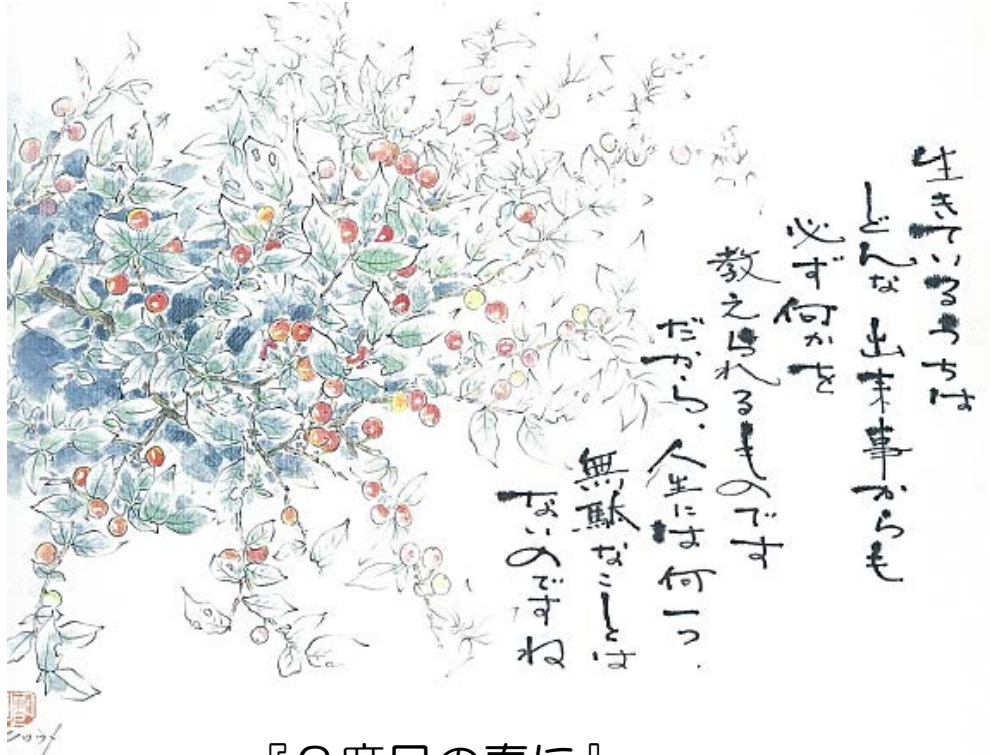


風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

春号
2020



風のおと

『3度目の春に』

3月末に、7人の仲間を送り出し、4月に6人の仲間を迎えました。

年度替わりは、一つの節目です。「竹は節目で伸びていく」これは、大沢啓二さん（故・元プロ野球日本ハム監督）の言葉ですが、人間も、人生の節目で伸びていきます。これは環境が変わること等により、様々な活躍の場が与えられることで発揮されるのだと思います。人生の節目では、辛いこともあります、その節目で頑張る人こそ伸びることができるのでしょう。

令和元年度末には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、2月28日（金）～3月31日（火）まで利用者受け入れを休止いたしました。おかげさまで約13万4000人の皆様にご利用いただくことができました。ご利用頂きました皆様にお礼申し上げます。

今年度も、基本的に忠実に職員一同取り組んでいきたいと思っておりますので、応援くださいますようお願いいたします。

所長 松村 純子

あかぎをつかう!

令和2年度の利用についてのお知らせ

令和2年度の利用にあたって、ものづくり活動の追加、特定研修活動指導料の変更、提出書類様式の変更等、いくつかの見直しを行っております。詳しくは、当施設HPや「2020年度版 利用の手引き」で最新の情報をご確認ください。





【事業等報告】

■社会教育功労者表彰

2月14日（金）に、長年にわたり社会教育活動に功績のあった元研修指導員の北村昌三先生が社会教育功労者として表彰されました。北村先生は交流の家の研修指導員として、平成16年から約15年にわたり、「ネイチャーゲーム」等の指導をとおして、子どもたちに自然体験活動の素晴らしさを伝えられました。



■法人ボランティア表彰

3月19日（木）に、令和元年度に赤城の法人ボランティアとして活躍した新潟大学の乙坂まりんさんが、国立青少年教育振興機構本部より表彰されました。

乙坂さんは夏季の長期キャンプをはじめとする教育事業に、法人ボランティアとして積極的に取り組んでくれました。



■群馬大学との協定

3月10日（火）、群馬大学との間で連携協定を締結しました。今まで以上に学生の自然体験活動を通じたボランティア活動の推進、研修場所や機会の提供に取り組んでいきます。多くの群大生のボランティア活動の参加をお待ちしております！



→詳しくはHPをご覧ください！

.....異動のお知らせ.....

交流の家では、下記のとおり人事異動がありましたのでお知らせします。

令和2年4月1日付け着任

令和2年3月31日付け転出・退職

企画指導専門職 渡邊 秀幸
(前職：茨城県ひたちなか市立勝田第二中学校 教諭)

主任企画指導専門職 梁河 昌彦
(転出先：茨城県古河市古河市立第三中学校 教頭)

企画指導専門職付 反町 峻
(前職：群馬県渋川市立子持中学校 教諭)

企画指導専門職 奈良 貢
(転出先：群馬県前橋市立粕川小学校 教諭)

事業推進係 成清 裕史
(前職：国立能登青少年交流の家 事務補佐員)

管理係主任 岡 一成
(転出先：群馬大学研究推進部 産学連携推進課 専門職員)

管理係 朝日 麻理奈
(前職：群馬大学学務部 学生受入課一般職員)

【退職】
事業推進係 大工原 仁志・小林 恵・山下 順子
総務係 戸田 みどり

事業推進係 高田 真美 (新規採用)

学生サポーター 細田 希星 (新規採用)



国立赤城青少年交流の家 <https://akagi.niye.go.jp/>
TEL: 027-289-7224 FAX: 027-289-7226
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail: akagi@niye.go.jp

【タイトルの「カラゴロリ」は、赤城名物の「からっ風」と雷の「ゴロゴロ」に由来します】